

全国学力・学習状況調査より

- ・国語では、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことがよくできた。漢字の読みはよくできていた。
- ・数学では、数学 A の正答率は「数と式」「関数」「資料の活用」すべての領域で全国・県平均を上回っていた。数学 B の正答率はすべての領域で全国・県を上回っており、特に図形の正答率は高かった。
- ・理科では、語句等の知識を問う問題の正答率が高い。無解答率が全体的に全国・県平均より低く、記述問題でも解答できていた。

埼玉県学力・学習状況調査より

- ・国語では、各学年とも記述式の問題がよくできていた。
- ・数学では、1年生から2年生、2年生から3年生の伸び率は、県の伸び率に比べてよかった。3年生、2年生の正答率は、すべての領域で県の正答率を上回っていた。
- ・英語では、2年生の正答率は、すべての領域で県と市を上回っており、特に英作文の正答率は、10%以上高かった。3年生の正答率は、すべての領域で県と市を上回っており、領域の正答率の偏りが少ない。

NRTより

- ・知能偏差は全国水準に比べ低いですが、学力偏差は全国水準とほぼ同じである。
- ・上位層は比較的多いが、下位層は少ない。アンダー・アチーバーは少ない。



【平成34年度までの目標】

- 全国学力・学習状況調査の平均正答率において、すべて県平均を上回る。
- 県学力・学習状況調査の平均正答率において、すべて県平均を上回る。
- NRTで全国水準を上回り、アンダー・アチーバーをゼロにする。

【来年度に向けての数値目標】

来年度に向けて、上位層を表のように増やし、下位層を0%にする。

	国語		数学		英語	
1 学年	上 6.5 %	10.0 %	上 24.1 %	35.0 %	/	
	下 0 %	0 %	下 4.6 %	0 %		
2 学年	上 4.7 %	10.0 %	上 27.4 %	35.0 %	上 42.5 %	50.0 %
	下 1.0 %	0 %	下 4.7 %	0 %	下 1.0 %	0 %

上位層 = 正答率 75%以上、中間層 = 75%未満 25%以上、下位層 = 25%未満

